

令和7年2月26日

世田谷区立松沢小学校
校長 寺崎 晶子 様

世田谷区立松沢小学校
学校関係者評価委員会
委員長 藤森 裕基

令和6年度世田谷区立松沢小学校 学校関係者評価委員会報告書

令和6年度学校関係者評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

学校におかれましては、この報告書を今後の学校運営にご活用いただき、より一層児童の健やかな成長が図られますようお願い申し上げます。

I 調査実施時期・対象(回収数・率)

- (1) 実施時期：令和6年11月27日から12月13日まで
- (2) 実施対象：児童（5・6年生） 保護者（家庭数） 地域
- (3) 回答数（回答率）：児童257人（89％） 保護者492人（66％）
地域58人（58％）

II アンケート調査結果（別紙）

III 考察

- (1) 児童対象（5年、6年対象）

評価の高いまたは増減が顕著な設問項目

設問	評価委員のコメント
・学ぶことは楽しい。	今年から加わった新設問、肯定的評価が63.3%、否定的評価が33.3%。“6.全般について”の設問“学校生活は楽しい”の肯定的評価が87.3%あり、学校に生活に対する設問であるが、24ポイントの差がある。経年観察が必要である。
・授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。 ・先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	授業において、教師と児童間の活発な意見交換が行われることで、児童自らが積極的に参加している様子がうかがえる。※「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。(93.6%)」の評価は昨年引き続き全設問最高値
・学校行事は楽しい。 ・学校行事は達成感がある。 ・先生は、児童の意欲を大切にしている	「学校行事は楽しい(88%)」「学校行事は達成感がある(77.6%)」「先生は、児童の意欲を大切にしている(78.2%)」学校行事に関する肯定的評価はいずれも77%以上で、充実した時間となっている。
・学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。」の肯定的評価が全設問中最下位の33.7%。昨

・区立中学に関する情報が提供されている。	年より 5.3 ポイント下落した。「区立中学に関する情報が提供されている。」も 43.1%で、昨年よりも 4.3 ポイント降下。近隣公立中学校に対する意識低下が見受けられる。
----------------------	---

※カッコ内は肯定的評価の数値

1 学習について

「学ぶことが楽しい」の肯定的評価は 63.3%で否定的評価は 33.3%。学校に関する他のアンケート項目の、約 80%となる高い肯定的評価を起点とすると、本項目では肯定的評価が低く感じられる。令和 5 年の文部科学省「義務教育に関する意識に係る調査 概要・集計結果」にある児童向け（小学生 4～6 年 中学生）アンケート“授業は、友達と一緒に学ぶことができて楽しいと思う”では、肯定的評価が 84.1%であった。他の行政が行っている児童向けのアンケートを見ても、単純比較はできないものの、同様の設問に対して8割程度が肯定的評価である。また、注意すべきは7.1%が“思わない”と否定的に答えている点である。今回だけでは判断はつきかねるが、肯定的及び否定的意見共に、経年で注意深く見守るべき項目であろう。

「先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている(90.3%)」

「先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している(81.6%)」

「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある(93.6%)」

「先生は映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている(90.7%)」

昨年に比べて微増微減が見て取られるが、高い水準をキープしている。教師と児童間において、積極的な学習体験が順次行われている証であろう。

2 生活指導について

「私は、学校のきまりを守って、行動している(68.9%)」

「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している(83.1%)」

「先生に注意されたことは、理解できる(86.9%)」

「私は、学校のきまりを守って、行動している(68.9%)」が、昨年比 8.4 ポイントマイナスとなった。肯定的な評価が極端に低いわけではないが、マイナス幅から考えると、早い段階で善処すべきではなからうか。「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している(83.1%)」と、注意されている認識があるだけに対応をお願いしたい。

3 学校行事について

「学校行事は楽しい(88%)」

「学校行事は達成感がある(77.6%)」

「先生は、児童の意欲を大切にしている(78.2%)」

いずれの項目も高い肯定的評価が続いている。児童それぞれがより一層楽しく活躍できる行事となるように願いたい。

4 キャリア教育について

「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある(68.1%)」

「目標を持ち、その実現に向けて努力している(65.6%)」

「区立中学に関する情報が提供されている(43.1%)」

「目標を持ち、その実現に向けて努力している(65.6%)」は10.3ポイント下落、「区立中学に関する情報が提供されている(43.1%)」も4.3ポイント下落した。小学校におけるキャリア教育は、中学校以降の自らの様々な目標設定に向けての最初の準備教育となろう。「目標を持ち、その実現に向けて努力している(65.6%)」がマイナスポイントであることは、将来への不安や悩みなどが内包されていることを意味するのではないか。その不安等の具体的な一例が「区立中学に関する情報が提供されている(43.1%)」の肯定的評価のマイナス傾向に見られるのでは無いだろうか。自立する力を育むキャリア教育であるが、益々重要な教育テーマとなるに思われる。再点検をお願いしたい。

5 先生について

「先生たちは、ていねいに指導してくれる(92.9%)」

「先生たちに相談できる(70.1%)」

肯定的評価が高水準で、経年維持されている項目。かつて「先生たちに相談できる」の低評価が続いた時期もあったが、改善され持続されている。引き続きの対応をお願いしたい。

6 全般について

「学校生活は楽しい(87.3%)」

「学校が好き(78.3%)」

「私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている(64.8%)」

「私は、塾で学習している(64.4%)」

「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある(33.7%)」

学校生活の充実度は高水準で維持されている反面、家庭及び塾での学習活動は、昨年比マイナスとなった。児童のライフスタイルの変化か否かは経年の経過観察が必要であろう。また、“学び舎の中学校”に関する評価は、22年から23年は10ポイントの改善が見られたが、今年は約5ポイント下がった。キャリア教育とも密接に関係があるだけに、包括的な指導を引き続きお願いしたい。

7 自分のことについて

「気持ちのよいあいさつをするようにしている(76%)」

「安全に気を付けて生活をしている(84.3%)」

「運動に意欲的に取り組んでいる(72.7%)」

「相手の気持ちを考えて行動している(85.8%)」

“気持ちのよいあいさつ” “安全に気を付けて生活” は肯定的な評価は昨年比マイナスとなったが、“運動に意欲的” “相手の気持ちを考えて行動” は同プラスとなった。いずれにしても7割超の肯定的評価であることにはかわりがない。引き続きの丁寧な指導をお願いしたい。

(評価委員：吉見明樹・大庭美幸)

(2) 保護者対象

評価結果が顕著な設問項目

設問	評価委員のコメント
肯定的回答の多かった項目 <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事は子どもにとって楽しい ・学校行事は、子どもにとって達成感がある ・本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。 ・学校公開や保護者会で児童の様子がわかる。 ・便りなどで保護者に情報を提供している。 	<p>「楽しい(95.3%)」「達成感(91.3%)」ともに9割超えの高評価。学校生活に関する項目は肯定的評価が多いが、行事に関しては特に保護者としても満足度が高い。</p> <p>「安全指導(93.1%)」の評価も高く、引き続きの指導を希望する。</p> <p>「学校公開や保護者会(93.3%)」「便りなどで情報提供(92.5%)」ともに9割超えて満足度が高い。</p>
否定的回答の多かった項目 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、家庭で自主的に学習をしている ・私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している ・私は、今年度の学校重点目標を理解している ・学び舎の中学校・幼稚園の情報が提供されている ・学び舎の幼稚園～中学校の交流活動がされている 	<p>いずれも例年同様否定的な回答が多い。</p> <p>「自主的に学習(否定的 41.61%)」</p> <p>「すすんで協力(否定的 44.9%)」「学校重点目標を理解(否定的 36.0%)」</p> <p>「中学校の情報提供(否定的 32.5%)」「中学校との交流活動(否定的 25.0%)」</p> <p>松沢中学校の魅力をもっとアピールし、交流を増やしてほしい。</p>
わからないという回答の多かった項目 <ul style="list-style-type: none"> ・生き方や将来について考える授業をしている ・「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている ・本校の子どもたちはいのちを大切に考えている ・地域に情報を提供している ・学び舎の中学校・幼稚園の情報が提供されている 	<p>いずれも例年同様にわからない回答が多い。</p> <p>「学び舎の交流活動は(わからない 33.7%)」「中学校の情報提供(わからない 24.4%)」</p> <p>「いのちを大切(わからない 26.6%)」</p> <p>「将来のことを考える授業(わからない 23.8%)」は保護者への呼びかけを広げる等もよいのではないかな。</p>

1 学習指導について

「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業を行っている。(79.6%)」

「本校は、黒板の書き方などやプリントなどを工夫している。(66.9%)」

「本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表したりする機会がある。(85.0%)」

「本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。(80.5%)」

先生からの一方的な指導ではなく、子どもたちが主体的に取り組む授業に工夫いただいていることは、大変ありがたい。タブレットを使いこなし、パワーポイントを作成してのプレゼンなども行っており、ICT活用が進み、年々生徒がスキルアップしていることはとても評価できる。

2 生活指導について

「本校は、学校のルールについて子どもに考えさせる指導をしている。(73.0%)」。

「本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。(79.9%)」

両項目ともに微減。低い数字ではなく高評価であるが、子どもがルールを押し付けられている感覚を持たず、自ら考え納得できるよう促していただきたい。

3 学校行事について

「学校行事は子どもにとって楽しい。(93.9%)」

「学校行事は、子どもにとって達成感がある。(91.3%)」

「本校は、子どもの意欲を大切にしている。(83.8%)」

いずれの項目も高評価が継続。今年は数年ぶりに体育学習発表会から運動会に戻り、演技だけでなく、応援も全学年で一丸となって行えたことは、とてもいい経験になったと思う。個人目標・学年目標に向かって仲間とともに頑張ること、達成感にも繋がっただろう。来年度より土曜授業がなくなること、行事が減る懸念があるが、子どもの成長の機会は死守していただきたい。

4 キャリア教育について

「本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。(59.6%)」

「本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。(55.5%)」

いずれも6割を下回る低評価。学年によっては保護者からの職業談や商店街の方のお話を聞いたり、和文化等の体験があったり、職業を知る機会は一定設けていただいているが、一時的な印象なのかもしれない。保護者への職業談の募集は学年を超えて呼びかける等、保護者の対象を広げてもよいのではないか。また、より身近な存在である中学生～大学生（卒業生）の講話等も有効なのではないか。

5 教職員について

「本校は、丁寧に指導している。(85.3%)」

「本校は、子どものことを相談しやすい。(78.3%)」

いずれも昨年より微増し高評価。日々の丁寧なご指導に感謝する。引き続き、取り残される児童がいないよう、一人一人の個性に応じた対応を希望する。

6 全般について

「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。(88.8%)」

「子どもは、家庭で自主的に学習をしている。(58.1%)」

「本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。(41.3%)」

「本校の教育活動に満足している。(79.1%)」

「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。(74.6%)」

高評価ではあるが、「学校生活は楽しい」と「教育活動に満足」は昨年より減少。他クラスとの交流が難しい部分が残っている。毎日の学校生活が楽しくなるよう、勉強だけでなく、子ども同士の交流についても引き続きの工夫を希望する。「家庭で自主的に学習をしている」では例年同様に肯定的回答が少なく、家庭での学習については保護者としては悩ましい。「『学び舎』による連携や交流活動が行われている」は例年同様に肯定的な回答が少ない。松沢中学校に対して、小学校としての取り組みで、学校公開時の見学ツアー等を検討し、交流を図っていただけないか。

7 学校からの情報提供について

「本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。(92.5%)」

「学び舎の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている(43.1%)」

「本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。(93.3%)」

「本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。(89.2%)」

「便りなどで情報提供」と「学校公開や保護者会で児童の様子が分かる」の肯定的回答は増加し、9割超えの高評価。引き続き学校公開等の保護者が様子を知る機会は設けていただきたい。「学び舎の情報提供」は他項目に比べると格段に低い。中学校の行事や学校公開等の情報はプリント配布だけでなく、先生方から子どもに直接伝える等、情報が埋もれない工夫を希望する。

8 学校運営について

「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。(76.2%)」

「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。(83.5%)」

いずれも高評価ではあるが、肯定的回答が昨年より減少。重点目標はHPを見ても探せず、もっと目に付くところに掲載してはどうだろうか。毎月目にする学校だよりに掲載してもよいのでは。学年単位での協力した指導・見守り等、先生方の協力的な指導体制は評価できる。引き続き様々な先生と関わる機会を作っていただくことを希望する。

9 家庭と学校との連携について

「私は、学校公開にすすんで参加している。(86.4%)」

「私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。(51.0%)」

「私は、今年度の学校重点目標を理解している。(47.2%)」

「学校行事などにすすんで協力している」は肯定的な意見が昨年より更に減少。仕事を持つ保護者が増加していることの表れとも思うが、専科授業のボランティア等、より協力しやすい仕組みに改善いただけると参加する機会が増えるのではないか。「学校重点目標を理解している」も昨年同様、肯定的な回答が少ない。目標を保護者が覚えていることは難しく、学校だよりへの掲載等、目に付く機会を増やすことで、アピールしていただけるとよいのではないか。

10 地域との連携について

「本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。(76.7%)」

「本校は、地域の活動などに協力的である。(73.4%)」

「本校は、地域に情報を提供している。(66.9%)」

いずれの項目も肯定的な回答が昨年より減少。地域の方には読み聞かせ、ときどき土曜スクール、わくわく体験教室等、様々な場面で協力いただいているが、保護者には見えづらい部分もある。小学校から地域への情報は行われているかが見えづらい。HPには活動を掲載いただいているが、定期的にHPを見ていない保護者も多いのが原因と思われる。

11 学校の安全性について

「本校は、安全な学校づくりを進めている。(85.4%)」

「本校は避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。(93.1%)」

「本校は自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。(81.7%)」

例年同様に「安全に関する指導をしている」の肯定的回答は非常に評価が高い。避難訓練の充実や緊急連絡メールを活用し、大切な情報が速やかに提供されていることへの安心感が高評価につながっているだろう。

12 松沢小独自項目

「本校の子どもたちはあいさつをよくしている。(66.0%)」

「本校の子どもたちはいのちを大切に考えている。(65.1%)」

「本校の子どもたちはすすんで運動に取り組んでいる。(68.1%)」

「本校の子どもたちは、相手を思いやる言葉を使っている。(54.3%)」

「あいさつをよくしている」は4%減少。学校内にいると自分からあいさつしてくれる子どもが多いと感じるが、あいさつ当番等も活用し、自分からあいさつする習慣を身につけてほしい。「すすんで運動に取り組んでいる」は5%増加。毎日の朝ランや体づくり期間は有効と思われる。「相手を思いやる言葉を使っている」は半数程度で依然低い。相手を思いやること、言葉遣いについては重点的に指導いただきたい。「いのちを大切に考えている」とも関連させ、学校においてははじめ、SNSにおいては誹謗中傷などで他人を傷つけることがないように、学校と家庭で協力していきたい。

(評価委員：大島友佳子・宮元智美)

(3) 地域の方々対象

評価結果が顕著な設問項目

設問	評価委員のコメント
肯定的回答の多かった項目 ・学校は安心・安全な学校づくりをすすめている。 ・子どもたちは楽しそうに学校に通っている。 ・学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。	学校の安全性86.2%、楽しそうに通学89.6%、学校からのお知らせ84.4%と全体的に肯定的評価が高い数値を得ている。 地域の人や施設を教育活動に活かしている77.6%、学校行事の内容は充実、も75.9%を超えていることから地域の方々の学校の教育方針に対する信頼が伺える。 今後も取り組みを継続して欲しい。
否定的回答の多かった項目 ・子どもたちは、挨拶ができる。 ・通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	子どもたちは、挨拶ができる24.1%、交通ルールなどを守っている20.7%、この二項目が20%台になっている。 挨拶に関しては、知らない人とおやみに話さない指導をしているので、よく知らない地域の方々への挨拶はなくて当然といえる。 交通ルールに関しては、学校の先生方が見ていない所の地域の方々の評価を受け止め、より一層の交通ルールの教育と啓蒙活動をお願いしたい。
わからないという回答の多かった項目 ・学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。 ・学校協議会と合同学校協議会が役割を果たしている。 ・「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	「わからない」が29.3%、否定的評価を合わせると約4割近い数値を示している。そもそも地域の方々の高齢化もあり頻繁にホームページを閲覧していない可能性が考えられる。 その他の項目でも「わからない」と否定的評価を合わせると4割を超えている。学校協議会と合同学校協議会の名称は知っていても、役割、内容に関しては知らなかったり、学び舎や学校公開等の活動について知らない方が多いのではないかと。

・学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	学校と地域の方々との協議の場として、必要とされているので周知する努力を継続してほしい。
-------------------------------	---

本校は商店街の中心ともいえる位置にあり、町会、自治会、多くの商店街関係者の方々や学校関係の委員、近隣の幼稚園、保育園、介護団体などに日頃からご協力をいただいています。皆様からの学校へのご支援に感謝申し上げます。

【共通評価項目】

1 生活指導について

地域の方々が見る機会が多いのは、登下校の時間である。特に商店街エリアは、その時間帯で通行止めをしているが、あくまでも商店街エリアの中心部だけで、通行止めエリア外は、車の迂回路になっている。下校時は学年によって時間が異なり通行止めも無く、特に危険で今後も学校からの定期的な指導と、地域の多くの目で児童の見守りを継続して欲しい。

2 学校行事について

新型コロナウイルス感染症が発生以来、生活習慣も変わったが、学校行事も形を変えてであるが元に戻り、児童、保護者共に高い評価を受けている。

保護者の高い評価に比べ児童の評価が少しシビアなのが気になるころではある。

感染症が終息したわけではないが、出来る範囲で子どもたちの「思い出づくり」の場を作っていたきたい。

3 学校からの情報提供

年間を通して「学校だより」「学校運営委員会だより」を地域に配布し高評価を得ている。

また、ホームページは毎日更新して児童の様子や学校の様子も分かる。

SNSを活用した情報発信は現在欠かせない存在になっているので、更新する担当の教職員は大変だと思いますが、今後も継続して欲しい。

4 学校運営について

学校の重点目標が明確である。

地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。

共に7割の肯定的評価である。目指す学校像の中に、「地域と共に子どもを育てる学校」も掲げている。

本校は、商店街エリアの中心ともいえる場所にあり、地域の特徴を活かした教育も積極的に行って欲しい。

5 地域との連携について

「地域の人や施設を教育活動に活かしている」は高い評価を得ている。

本校は下高井戸商店街の中心ともいえる場所にあり、地域の特徴を活かした授業をしてい

る事が伺える。また、日本大学文理学部もあり、学生の教育活動にも生かされている。

また、学校運営委員会も活発な活動を行っている事が伺える。一方、学校協議会や合同学校協議会の役割に関しては肯定的評価が低い、これはコロナ禍以降、学校協議会を開催していないことが要因と考えられるが、学校協議会の3つの機能「児童の健全育成」「地域防災・防犯」「教育活動の充実」のうち、「児童の健全育成」と「教育活動の充実」は学校運営委員会が、「地域防災・防犯」は避難所運営委員会が機能を補完しているので、働き方改革の視点から見ても、改めて時間と手間をかける必要が感じられない。

6 学校の安全性について

「学校は、安心・安全な学校づくりを進めている」

「学校は、安全性を高めようと地域と協力している」は共に高い評価を得ている。

松沢小学校は、定期的に避難訓練が行っており、地域の避難所として、松沢小学校避難所運営委員会の開催時には、毎回参加し学校側の情報など提供、共有している。

毎年秋には希望者児童を募り、学校運営委員会が主催する「どきどき土曜スクール 避難所を体験しよう!」を、消防署管轄、行政、避難所運営委員会、大学生等が協力して避難訓練と避難所宿泊体験をしている。実際に体験する事は大切である。今後も取り組みを継続して欲しい。

7 松沢小学校について

「子どもたちは、挨拶ができる」は、昨年より肯定的評価が減っているが、これは「知らない人と関わらない様に」という教えが徹底されている為であり、喜ばしい事と思われる。

校内では挨拶運動を行なっている様子、また登下校時に子ども達が先生に元気に挨拶する姿を見ることができる。

「子どもたちは、楽しそうに学校に通っている」は、今年も大変高い評価となった。子ども達にとって学校が楽しいことは、地域にとっても非常に好ましく、引き続き楽しい学校運営をお願いしつつ、地域の方々には、これからも温かく見守って欲しい。

(評価委員：石井健夫・永井紀之)

IV まとめ

本年度のアンケート結果の評価を、まずは「評価の高い設問」と「評価の低い設問」に区分して、それぞれの評価内容を総括した。特に〈表-1〉と〈表-2〉は、「児童」「保護者」「地域」のアンケート結果の項目の中で、最も顕著な結果が現れたものである。「評価の高い設問」は、本校の最も優れた特色であり、「評価の低い設問」は次年度の優先課題となるものである。総合所見では本校の重点目標を、本年度のアンケートを基に検証した。

1 今年度の評価結果に関する成果と課題

〈表-1〉【評価の高い設問】

区分	設問	評価委員のコメント
児童	・授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	3項目ともに9割を超える高評価で、先生が工夫した授業を行い、児童もそ

	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちは、ていねいに指導してくれる。 ・先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。 	の授業に満足していることがうかがえる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事は楽しい。 ・学校生活は楽しい。 ・学校行事は達成感がある。 	3項目ともに前年度に比べて肯定的評価は下がっているが、それでも7割を超える高評価で、各種行事、日々の学校生活の充実ぶりがうかがえる。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事は、子どもにとって楽しい。 ・学校行事は、子どもにとって達成感がある。 ・本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。 ・本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。 ・本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。 	5項目ともに9割を超える高評価で、学校行事や学校からの情報提供について保護者の満足度が高いことがうかがえる。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は安心・安全な学校づくりをすすめている。 ・子どもたちは楽しそうに学校に通っている。 ・学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。 	3項目とも8割を超える高評価であり、地域のアンケート調査の中でも、「子どもたちは楽しそうに学校に通っている」が肯定的評価が最も高かった。

児童に対するアンケートからは、授業に関する満足度が高く、学校行事・学校生活を楽しんでいる様子が確認できた。これらは先生方の指導のおかげである。保護者からは、学校行事や安全指導、ホームページなどを通じた情報提供が、前年度に続く高評価となり、学校生活全般への満足度の高さが読み取れる。特にホームページに関しては、先日スマートフォンで見やすいように大幅な修正が行われた。大変であることは十分承知しているが、今後も十分な情報発信を続けていきたい。地域の方からも、児童が楽しく学校に通っている様子がうかがえた。

〈表－2〉【評価の低い設問】

区分	設問	評価委員のコメント
児童	<ul style="list-style-type: none"> ・学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。 ・区立中学に関する情報が提供されている。 	2項目とも肯定的評価が前年度に比べて4%以上降下するとともに、「わからない」という回答もそれぞれ18%、28.1%であり、意識の低下が見受けられた。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、家庭で自主的に学習をしている。 ・私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している。 ・私は、今年度の学校重点目標を理解している。 	前年度と同様に3項目に関しては、否定的回答が多かった。重点目標に関しては「分からない」という回答が多かった。他にも「分からない」が2割を超える項目が5項目あった。

地域	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、挨拶ができる。 ・通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。 	2項目に関しては確かに否定的評価は多いが、肯定的回答も「挨拶ができる」70.7%、「交通ルールを守っている」68.9%と多かった。この項目以外に「分からない」が2割を超える項目が5項目あった。
----	---	--

前年度に引き続き児童は「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がない。」「区立中学に関する情報が提供されていない」と感じているようだ。特にこの両項目については「わからない」という回答がそれぞれ、18%、28.1%であった。これは保護者も同様で「わからない」という回答はそれぞれ、33.7%、24.4%であった。松沢小学校から同じ赤松学舎である松沢中学校への進学者は例年5割程度であること、また、松沢中学校が自校のPRに熱心では無いことも原因であろう。同窓会のご協力により松沢中学校吹奏楽部の演奏を聴く機会を設けていただいていることは、児童にとっても松沢中学校を身近に感じられる良い機会であり、感謝申し上げる。区立中学校に関する情報提供は児童が進路を考える上で重要なことであるので、今後も松沢中学校との交流の機会を模索していただきたい。

本校の「重点目標」であるが、保護者は76.2%が「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている」と肯定的に評価しているが、その内容を理解しているのは47.2%であり、16.9%は「分からない」と回答している。恐らく「重点目標」という言葉を明確に使用していないことが原因と考える。この点に関してはご検討いただきたい。地域の方々は22.4%が「分からない」と回答しているが、一方で70.7%が肯定的に評価していることから、本校に対する地域の方々の関心の高さがうかがえる。

保護者向けの本校独自の設問に「子どもたちはいのちを大切に考えている」がある。保護者の65.1%は肯定的な回答をしているが、26.6%は「分からない」と回答している。このアンケートを機に親子でいのちについて話し合う機会が生まれることを願う。

2 総合所見

昨年度同様、アンケートの結果は、児童・保護者・地域ともに、全体的にかなりの高評価となった。教職員の皆様が行っている質の高い教育活動が適正に評価されたと考える。今後も慢心することなく、校長・副校長先生をはじめ教職員の皆様が協力して、豊かな教育の実現に邁進していただきたい。

重点目標は本校における学校教育の根幹をなすものである。本来であれば、その達成度を評価するためのアンケートを実施すべきであるが、本報告書では、今回のアンケートの結果を参考に重点目標に関して評価していく。

目標1. 誰一人置き去りにしない教育

本年度新設された設問に「学ぶことが楽しい」があった。63.3%の児童が「とても思う」「思う」と肯定的に回答する一方、33.3%が「あまり思わない」「思わない」と否定的に回答した。学校生活は「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童は87.3%であるので、「学校は楽しいが、学ぶことは楽しいと思えない」児童が少なからずいるようだ。難しいことではあるが、先生方にはぜひ児童に対して「学ぶことの楽しさ」を伝えていただきたい。児童も保護者も「先生たちは、ていねいに指導してくれているか」との問いに関して肯定的評価はそれぞれ92.9%、85.3%であり、先生方に対する信頼度は高い。一方で、児童は「先生に相談できる」というと、肯定的評価は70.1%と低下する。本

目標は十分に達成されていると考えるが、今後児童を置き去りにしないためにも、先生方は児童ひとりひとりが相談しやすい雰囲気構築に努めていただきたい。

目標 2. 主体的に学ぶ（活動する）児童

キャリア教育において、本校ではゲストティーチャーを招いての講演会を数多く開催しているからか、児童は「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。」（肯定的評価 68.1%）、「目標をもち、その実現に向けて努力している。」（肯定的評価 65.7%）と感じている。一方で保護者は2割以上が「本校の教員は、子どもに興味をもたせ、その実現のために支援しているか分からない。」「本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしているか分からない。」と回答している。これは残念なことである。保護者の方々には子どもたちと学校での出来事を話す機会を作っていただければと願う。

近年宿題のあり方が変わってきている。そのためか保護者は「子どもは、家庭で自主的に学習している」に対して肯定的評価は 58.1%と6割を切るようになった。我が子の家庭での学習に満足していない保護者が増加してきたようだ。一方児童は「家庭で宿題や e-ラーニングでの学習をしている」に対して肯定的評価は 64.8%と保護者よりも自己肯定感が高い。しかしながらその数値は前年度より減少している。学校では主体的に学ぶ授業が行われており、授業に対する児童の満足度は高いので、学ぶ楽しさの発見が主体的に学ぶことのできる児童の増加に繋がることと期待している。

目標 3. 児童の規範意識の向上

児童は「学校の決まりを守って、行動している」に対して肯定的評価が 68.9%、否定的評価が 31.1%であり、やや低い傾向であった。先生が児童の行動を注意すると「先生に注意されたことは、理解できる」（肯定的評価 86.9%）と考えている。保護者も先生方が「学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている」（肯定的評価 73%）と感じ、「そのルールを子どもが理解している」（肯定的評価 79.9%）とも感じている。それでもルールを守れないのが子どもである。先生方はこれからも自信を持って正しく指導・注意していただきたい。

地域の方々は「通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている」（肯定的評価 68.9%）と感じているようである。学内だけでなく学外においても規範意識を持つ指導を今後も継続していただきたい。

目標 4. 授業の充実

上述した通り、児童の授業に対する評価は非常に高い。また「先生は、映像やタブレットを工夫し、わかりやすい授業をしている」に対しても児童の肯定的評価は 90.7%と高い。保護者の肯定的評価も 80.5%であり、「分からない」の 10.6%を考慮すると、総じて本校における ICT を用いた授業は高い効果を与えていることが分かる。今後も継続していただきたい。

目標 5. 地域と共に子どもを育てる教育を推進します

保護者は地域との連携に関し2割弱の方々が「分からない」と回答しているが、7割を超える保護者が「地域の人や施設を教育活動に生かしている」（肯定的評価 76.7%）、「地域の活動などに協力的である」（肯定的評価 73.4%）と高く評価している。地域の方々も「地域の人や施設を教育活動に活かしている」に対して肯定的評価が 77.6%と、「地域として学校教育に貢献できている」と感じている。

これはホームページを通じての情報公開や、学校運営委員会、学校地域支援本部、PTA、同窓会の皆様の協力のおかげであろう。深く感謝申し上げます。今後も教職員を中心として地域との連携を取り入れた教育を続けていきたい。

目標6. 働き方改革を推進します

これは教職員の働き方に関する目標であるため直接的なアンケートは行っていない。しかしアンケートの回答をみると、先生方は児童及び保護者から信頼されていることがうかがえる。児童の成長のためにも、まずは先生方が心身ともに健康でいられる環境作りを心がけていただきたい。

3 最後に

アンケートが紙媒体からオンラインで回答する方式に変わって3回目のアンケートとなった。オンライン化により回収率が大きく減少したが、児童89%、保護者66%、地域58%まで回復してきた。紙媒体時の平成3年度の回収率（児童96%、保護者85%、地域66%）への回復を願うところである。なお、保護者に対するアンケートは今までの「児童1回から「家庭1回へと変更した。そのため保護者の回答数は前年度の618から492に減少したが、本質的な問題は無いと考えている。

アンケートには一部、現在の本校の実情にそぐわない設問があった。次年度以降は世田谷区と協力してより効果的なアンケートを実施できればと考えている。

アンケートは本校に対する貴重な意見の集約である。回答にご協力いただいた、児童、保護者、地域の皆様に感謝申し上げますとともに、本報告書が今後の松沢小学校における児童教育の手助けとなることを願います。

世田谷区立松沢小学校 学校関係者 評価委員会

委員長 藤森裕基（日本大学文理学部）

委員 石井健夫・大島友佳子・大庭美幸・永井紀之・宮元智美・吉見明樹